

◆ニックネーム・グループ名 (人数)

あきゆさり

(5人)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 健康新聞

活動の動機

私達の住む日本は、深刻な少子高齢化に陥っている。そこでまずは身近の自分達の町の医療体制、介護指数などを把握しそこから派生する問題とパートナーシップで目指す将来の形の為に出来る事を考えたいと思ったため。



活動実施日

20220830

目指すSDGsゴール

3 すべての人に健康と福祉を

解決したい地域の課題

豊橋市は他の市町村と比べて人口も多く発展していて健康・医療・福祉サービスが充実している。高校二年生に行ったアンケートから豊橋市の具体的政策がわからないという人が多かったので、その面を広める必要がある。

目指す将来の姿

現在の豊橋市は急速な少子高齢化が進んでおり、高齢者の割合の増加や人口の減少が起きている。市民の健康寿命をのばすために、もっと一人一人が自分の健康状態を知る必要がある。したがって、検診を身近に受けられる環境を作ることが将来目指す姿である。そして今以上に利用しやすい医療体制を充実させることも重要である。

活動の内容

私たちは、健康のことについてまとめて、新聞を作った。まず、新聞に載せる内容を決めて、二学年の生徒にアンケートを取った。そして、班員それぞれが一つずつの内容を決めるかを分担した。完成した新聞を始業式の日にクラスに掲示し、みんなに見てもらった。新聞制作をすることで、自分が担当することになったテーマについて詳しく知って、健康への意識が深まり、なぜ健康への意識を高めなければならないのか分かった。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

豊橋カレーうどんを調べ隊

（ 5人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT  GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 豊橋カレーうどんの調査

活動の動機 “「豊橋カレーうどん」。名前は知ってるけど、食べたことないよね。”という何気ない一言から活動に至った。

内容物	ねぎ 豚肉 チーズ うずらの卵 油揚げ
辛さ	甘い-----→辛い 1 ② 3 4 5
量	一般的な一人前
値段	880円

活動実施日

20220729

目指すSDGsゴール

1 2 つくる責任つかう責任

解決したい地域の課題

豊橋カレーうどんが食べられるお店は市内に約40店舗ある。40店舗もあるというのに、地元の人でさえ食べたことがない人も少なくはないだろう。豊橋カレーうどんの魅力を伝え、もっと多くの人に食べてもらいたい。

目指す将来の姿

豊橋カレーうどんは、うずらの卵をはじめとした地元の食材が使用されている。もっと多くの方に食べてもらい、地産地消に繋げ、豊橋の産業を活性化させていく。

活動の内容

豊橋カレーうどんを提供している店舗に訪問し、値段・内容物・量を調べ、豊橋産の具材は何を使っているのか調べた。まず、豊橋カレーうどんは満足できる量で、安い。店舗によって使用する具材が異なるため、バリエーションが豊富で何軒回っても飽きない。また、豊橋駅周辺にも数軒提供されている店舗があるので、地元の方ではない人にも目に留まりやすい印象を受けた。※活動写真は、商品を写せないで調査に使用したメモを用いた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

チーム南吉

（ 5人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 豊橋産の野菜

活動の動機

豊橋には畑が多くあり農産物が有名であるにもかかわらず野菜嫌いであったり地産地消をあまり意識していない人が多いとアンケートの結果で明らかとなったので豊橋の野菜は健康にどのような効果があるかをしりたいです



活動実施日

20220518

目指すSDGsゴール

8 働きがいも経済成長も

解決したい地域の課題

豊橋市では、農家が25年前と比べ半分になっています。また若者の農業離れから、年々農業産出額が減少しており、地産地消も出来ていないことが問題となっています。

目指す将来の姿

若い人たちが農業の楽しさや充実さを感じられるように地元の食材を使った料理レシピをホームページにのせたり、その食材がどのように体に良い影響を与えてくれるかを老若男女問わず情報を簡単に得ることができるようになってほしい。また農協でイベントを開いたりして、農業と私たちの生活がもっと身近な物になってほしい。

活動の内容

農協に行って、年齢層と売り物、売れ行き、地物値段を調べました。野菜の成分を調べて、食べることでどんな影響があるのかを調べ、栄養バランスを考えて料理を作ってみました。また、地元の高校生にアンケートをとり、豊橋市民が豊橋の農業にどれくらいの興味を持っているのかを調べてみました。全体的に、あまり興味がなく、豊橋の特産物を知っている人も地産地消を意識している人も全体の10%をきっており有名にする必要がある

◆ニックネーム・グループ名（人数）

3組2班

（ 6人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル SDGs

活動の動機

僕たちの班は所属部が全員バラバラですが、運動部に全員入っています。その一番の理由は単純に運動というものが好きだからです。ただ他の人にも運動を楽しんでもらいたいので今回このお題を選択しました。



活動実施日

20220820

目指すSDGsゴール

3 すべての人に健康と福祉を

解決したい地域の課題

地域の人にもっと体を動かしてほしく、またそれによって健康になってもらいたいです。そのために僕たちの身近にあり、知名度や使用率の低い市の体育館をもっと活用してほしいのが僕たちが考える課題です。

目指す将来の姿

僕たちの班の目標としては、将来運動不足による生活習慣病の人をゼロにする事です。また、運動やスポーツを通じて交流の場を拡大し、住みやすい街づくりももう一つの目標としています。そのために、まずは近場にある、体育館を積極的に知るようになりました。

活動の内容

僕たちは夏休み期間を利用して前田南地区体育館へ行き係員の人に話を聞いてきました。行ってみると、予約が取れない程に利用されているとわかりました。また他の体育館（豊川市総合体育館等々）の予約状況を調べてみると、様々な体育館で予約がほぼ全て埋まっていた。あとは前段で書いた交流の場をもっと拡大すればより良い街づくりになります。そのためにも、体育館に掲示されている交流会に、積極的に参加してほしいです。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

しげまる

（ 5人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル

豊橋の子育て

活動の動機

豊橋市で教育を受ける身として、現在の豊橋の教育の実態を知り、その知識を広めたいと思った。また、少子化が進む現代での問題を見つけ、少しでも今後の解決に役立てたいと思いました。



活動実施日

20220801

目指すSDGsゴール

4 質の高い教育をみんなに

解決したい地域の課題

少子化の原因を考えた際、子どもを生みやすい環境が関係しているのではないかと思います。子育てに関するサービス、教育費などを見直すことで、私たちの地域が子どもを生みやすい環境をつくりたいと思いました。

目指す将来の姿

全てのお母さん、お父さんが少しでもストレスを感じずに安心して子育てできるようにしたい。そのための「とよはし子育て応援フェス」などの市の相談会やイベントの機会を増やし、同じ悩みをもつ親同士で定期的に悩みを共感できる場が沢山あるまちづくりをしていきたいと思います。

活動の内容

夏休みを使い、自分の両親に子育てについて聞きました。子育てで困ったイヤイヤ期や、欲しかった制度など私たちが小さかった頃の子育てでの問題が沢山出てきました。しかし現在の子育てについて調べてみるとやくあ10~15年前の親の悩みは子育て情報ハンドブックの配布や、幼児教育・保育の無償化、子ども・子育て支援制度によってほとんどが解決へと向かっていることが分かりました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ほうれん草のおひたし

（ 6人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 公共交通機関の利用者向上に向けて

活動の動機

豊橋市は、全国でも珍しい市電がありますが、調べてみると利用者があまり多くないことが分かりました。そこで都市基盤である市電やバスの利用者向上に役立ちたいと思ったことがきっかけです。

活動実施日

20220921

目指すSDGsゴール

11 住み続けられるまちづくりを

解決したい地域の課題

市電の利用者数が少なく感じるどころです。豊橋市に在住していても、「年に数回」「利用したことがない」という人が多くいました。その原因として、バスとは違った市電の良さや便利を知らない人が多いという点です。

目指す将来の姿

駅周辺の都市部だけでなく、中心からはずれた方向のすみずみまで、交通網が発達し本数も増え、多くの人々が利用しやすいようにしていくことです。また、バス停や豊橋特有の市電の路線を増やし、その周辺に人が集まりやすいよう観光スポットや、大型施設を設けて、都市基盤を形成していくことです。

活動の内容

最初に豊橋東高校2年生に「公共交通機関の利用状況について」のアンケートを行いました。市電は年に数回利用する人が最も多く、バスは月に数回利用する人が最も多かったです。その次にバスで、バリアフリーについて調べて、体に障害のある人や、支援を要する人でも利用しやすい工夫が多くあることも分かりました。最後に、豊橋市の公共交通空白地域も調べると豊橋駅から離れるほど広がっていき、不便であることも分かりました。

◆ニックネーム・グループ名 (人数)

2年6組2班

(5人)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 高校生の医療費負担について

活動の動機

ニュースや情報番組などで、名古屋市の高校生の医療費は市が全負担するとの話題を耳にして、僕たちが住んでいる豊橋市では、名古屋市と同じ様なのか、それとも違うのかどうか気になり調べることにした。



活動実施日

20220805

目指すSDGsゴール

11 住み続けられるまちづくりを

解決したい地域の課題

現在豊橋市では、高校生の入院は既に全額助成だが通院は3割自己負担となっている。県内では、蒲郡市も来年度から通院も無料となる。今後他地域でも無料化が進むと考えられるため、豊橋市も全額助成すべき思った。

目指す将来の姿

医療費を全額助成にすることで誰もがお金で制限されず、平等に医療を受けられるようにしたい。負担を減少させることで安心して住むことができるため、住みやすい街にできると思う。それにより、豊橋市への移住や定住を増加させ、経済成長を促進させた。

活動の内容

豊橋東高校でアンケートを実施し、1. 払う税金は増えるが医療費が全額免除 2. 払う税金そのまま医療費3割(現状維持)のどちらがよいか、また、その理由を調査した。未回答を除いて、1と答えた人は全体の44%で2と答えた人は55%だった。1と答えた理由は「医療費が高いと感じる。よく病院に行く」などで、2と答えた理由は「医療を受ける人と受けない人の差があるため、全員が税金を払うのは不公平」などだった。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

RP

（ 5人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル NHP-RP

活動の動機

全国でも珍しい、動物園や植物園、水族館が一緒になったのんほいパークを全国からもっと多くの人に来てくれるような場所にして、豊橋市を活気づけたいなと思いました。



活動実施日

20220819

目指すSDGsゴール

8 働きがいも経済成長も

解決したい地域の課題

豊橋市は、娯楽施設が少なく観光業が盛んではないです。幼児、学生、大人の幅広い年齢層が楽しめる施設が少ないということや、他県からの観光目的の訪問者が少ないということが課題だといえます。

目指す将来の姿

小さい子供だけでなくどの世代でも楽しめる、また地元の人だけでなく他県の人にも楽しめる施設や空間がある社会。
豊橋市の他にはない良さや伝統を多くの人に知ってもらい、経済面でより発展することの出来る社会。

活動の内容

のんほいパークについてのアンケートをとった。（豊橋東高校の2年生を対象として）
欲しい設備として絶叫系のアトラクション、見どころとして動物が多く、多くの人が友人や家族と行って、最後に行ったのは中、高、小の順に多かった。のんほいパークに行って現地調査をした。家族連れや若年層が多く年齢層に偏りがある。暑さ対策があまりなく歩き続けるのが大変なので休憩所が必要。飲食店が少ないのもっと増やすべきだ。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

KTAZ

（ 5人 ）

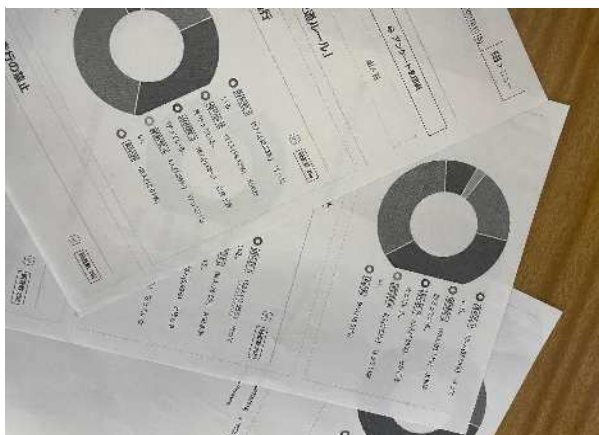
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 交通ルールを守ろう

活動の動機

目指すまちの姿を下に私たちが考えた交通はSDGsに繋がると思いました。そして毎日、自転車などを用いて通学している私たちにとって最も身近で関わり続けるテーマであると考え、活動しようと思いました。



活動実施日

20220926

目指すSDGsゴール

11 住み続けられるまちづくりを

解決したい地域の課題

豊橋市は事故が多いです。通学、通勤時に自転車を多くの人が利用しています。特に高校生は小中校生とすれ違うことが多く、事故が起こりやすいです。しかし、今の高校生は交通ルールを守っていないのが現状です。

目指す将来の姿

この問題を解決するために、交通ルールを意識づけるための取り組みが必要だと考えました。町全体でポスターの掲示、交通整備を行い、公共施設で交通マナー講座を開くなど一人一人を交通ルールマナーの意識を高める取り組みを持続することが必要だと思いました。

活動の内容

アンケートの実施 1 自転車での左側通行ができているか。道によってはしょうがないところもあるが守れている人が多かった。 2 並進走行をしていないか。ルールよりも自分の気持ちを優先してしまう人が多いことがわかった。 3 交差点での一時停止ができているか。信号がないから意識が薄い人が多いことがわかった。 4 イヤホン・スマホながら運転をしていないか。運転に集中できていない人が少ない。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

SKKT

（ 4人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 「ポイ捨てゼロ」の町づくり

活動の動機

駅前や人通りの多いところでポイ捨てされたゴミを見かけることがあり、豊橋の環境はもちろん、川や海などの生物にまで悪影響を与えているのではと考え、ポイ捨てを削減したいと思いました。



活動実施日

20220802

目指すSDGsゴール

14 海の豊かさを守ろう

解決したい地域の課題

「ポイ捨てゼロ」を目指したいです。人間が作ったものがきちんと廃棄されずに自然に放たれると環境に悪影響を与えますが、私たちが日々生活する中では歩道や海岸にポイ捨てされたゴミが多く目につきました。

目指す将来の姿

豊橋市の人々にポイ捨てによってどれだけ街が汚れていて快適に過ごしにくくなっているかを理解してほしいです。そして「ポイ捨てゼロ」の輪を広げていき、みんなが「ゴミの落ちていない綺麗な街」と自慢できるようにしたいです。

活動の内容

伊古部海岸と豊橋駅周辺でゴミを拾った。海岸はペットボトルが7割以上と大半を占め、他はコンビニの弁当などのプラスチック商品だ。海岸は暑く、水分補給のために持ってきて捨ててしまうのであろう。駅周辺はタバコ、ビニール袋、食品のゴミ、マスクなどがあり、細かく軽いゴミは一度飛ばされたり落としたりすると、拾うのが面倒になってしまうのであろう。海岸も駅もゴミ箱がほとんど無かったので、もっと多く設置すべきだ。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

せきゅあーず

（ 5人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 250(ジコゼロ)計画

活動の動機 登下校中に危険だと思う場所があり、また豊橋市の事故数が多かったため、多くの人に知ってもらいたいと思ったから。



活動実施日

20220828

目指すSDGsゴール

3 すべての人に健康と福祉を

解決したい地域の課題

通学時危険だと思う場所が多くあり豊橋を調べたところ、まだ手の届いてない未整備の場所があることや通勤・通学をする7時、8時、15時、19時の間は交通手段のピークとなり事故が起きやすいことが分かりました。

目指す将来の姿

私たちは“事故ゼロ”という目標を掲げ、目指していこうと思いました。
今回実際に足を運んで事故について調べたいことや感じたことは、ごく一部かも知れません。
まだ手の届いてない危険な場所、気をつけるべき場所をしっかりと今後も意識し続けることが目標達成のために大切になってくるかと思いました。

活動の内容

豊橋市内の事故が多発しているところや登下校中に危険だと感じる場所を調べ、分析しました。車通りが少なくても、街灯が少なく薄暗かったり、道が曲がっていて家で横断歩道が隠れてしまっているところは歩行者が見にくくなり、事故に繋がるのでは無いかと考えました。バイパス周辺の交差点やとよばし北は車通りが非常に多いため危険であると思いました。また道路に塗装があるところは特に気をつける必要があると思いました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

坂神と愉快的仲間たち

（ 5人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル

住みやすい街豊橋

活動の動機

近頃、地方では伝統文化を受け継ぐ人が減少しており、伝統文化自体も減少してきています。豊橋の伝統文化をなくさないようにするために、僕達のような若い世代が伝統文化について知らないといけないと思いました。



活動実施日

20220921

目指すSDGsゴール

11 住み続けられるまちづくりを

解決したい地域の課題

豊橋は外国籍の方々が多く住んでおり、行事の参加人数に限られているのにはこういった特徴があるのに、彼らが参加出来ていないところにあると思います。ですから多言語での案内表示などを増やすべきだと考えました。

目指す将来の姿

調べていく中で、豊橋にはいろいろな祭りが開催されている事を知ったり、地元の人たちと外国の方々と交流できる機会が思った以上にあると知れたので、僕たち学生が積極的に参加し、伝統・文化を通じて誰もが共生しやすいづくりを目指したいです。

活動の内容

7月16日の「祇園祭」に参加しました。そこで手筒花火が行われており、若い人も多く打ち上げていました。祭りの参加者には地域の人が多く、若い世代の人達が積極的に参加し、受け継いでいくことが大切だと思いました。また、ココニコで外国人との共生について質問しました。ココニコは子どものためだけのものだと思っていますが、外国人との共生にも力を入れていて、いろんな世代の人たちが利用できる空間だとわかりました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

募金は世界を救う

（ 6人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT **GOALS**

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル

NO医療NOLife

活動の動機

2020年から、新型コロナウイルスの流行が始まりました。テレビの報道で現在の医療体制は充分ではないと分かりました。そこで、私達高校生が少しでも医療の手助けをするため、募金を実施しました。



活動実施日

20220817

目指すSDGsゴール

3 すべての人に健康と福祉を

解決したい地域の課題

コロナ感染を抑えようとしている医療従事者を支えるために愛知県などの機関が募金を募っていることを知らない人が多くおり、医療従事者を支えるきっかけをつかめていないという課題となっています。

目指す将来の姿

今回の愛知医療応援基金への募金など、様々な活動への参加により、市民1人1人の医療に対する関心を高めたいです。そして皆が協力できる社会をつくり、市の医療体制を最大限の治療ができる状況まで充実させていきたいです。今回の募金だけでなく、医療のニュースを見たり、市や県の活動に積極的に参加していきます。

活動の内容

8月17日から3日間、本校の2年生を対象として、募金を行いました。この募金は、愛知医療応援募金というもので、医療を手助けする募金の1つです。3日間で合計3776円集まりました。3日間で集めた金額では、医療従事者の皆さんの手助けをするには、足りません。けれど、自分たちの活動をきっかけとして、たくさんの人たちが医療への募金に参加してくれたら、募金の力で医療を手助けするのは、不可能ではないと思います。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

サンダーズ

（ 5人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 地元企業に密着！

活動の動機

私たち自身が身近な課題の中で取り組めることを探したいと感じたからです。そこで豊橋市の特産物であるブラックサンダーについて文化という分野からSDGsへの理解を深められると思ったからです。



活動実施日

20220921

目指すSDGsゴール

12 つくる責任つかう責任

解決したい地域の課題

課題としては、地域の特産物に触れ合う機会がなかなかない事があげられます。地域の活性化のためにも身近で買える場所を設ける必要があると思います。

目指す将来の姿

地元の名物や地元の企業が行っているSDGsの活動を調べ発信し豊橋の人に豊橋のことを知ってもらうことで、豊橋をSDGsについて理解にある未来のことを町全体が考え、地域の特産物についても、市民が誇りを持ち、豊橋という町がそこに住んでいる人たちによって盛り上がる町を目指します。

活動の内容

夏休み期間中に有楽製菓さんに電話をしました。SDGs12番の解決として廃棄物削減がありました。異物混入した場合、肥料にするなど食品リサイクル率を98.8%という食品企業で高い水準を保っています。また豊橋まつりで物産展をと盆踊りに参加し地域交流を行っていました。さらに環境に配慮し社内エコプロジェクトではエコアプス21を取得・継続しています。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ODA

（ 5人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 豊橋の健康と医療について

活動の動機 近年、日本では『健康寿命』が課題となる。そのため、豊橋の健康や医療について今一度見直そうと思った。



活動実施日

20220801

目指すSDGsゴール

3 すべての人に健康と福祉を

解決したい地域の課題

現状少子高齢化社会となっているので、働く年齢を上げようという『健康寿命』が鍵になると考えている。今の高校生は、年齢を重ねるにつれて生活習慣が徐々に悪くなっている。生活習慣の改善はその一歩となる。

目指す将来の姿

おそらく僕たちが高齢者の立場となる頃には、60代でも現役のように働くことになると思う。そのため若者と同じくらいの健康状態を維持しなければならない。その骨組みとなる生活習慣や適度な運動による体力、筋力維持を意識し、実行する人が増えることが目指す将来の形だ。

活動の内容

クラス約40人に就寝、起床、運動などの生活アンケートをとる。その結果として、半分以上の人は、『自分の生活習慣について意識することができた。』と答え、夏休み中に改善できたのかなと思う。また、町の医療機関の分布を調べたところ、各地区一つはあるのでもしもの時でも大丈夫だと思う。
豊橋公園で運動している人などを調べたところほとんどが高齢者で健康について意識していると思う。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

農家目指してます

（ 5人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT **GOALS**

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル

将来の選択肢の1つに！！農業を！！

活動の動機

豊橋が抱える様々な問題を調べる中で農家の後継者問題を発見し、危機感を感じました。全国有数の農業地域である豊橋をより知って欲しく、私たちにできることを通して少しでも現状からよくしたいと思ったからです。



活動実施日

20220831

目指すSDGsゴール

9 産業と技術革新の基盤をつくる

解決したい地域の課題

豊橋では施設園芸農業が盛んですが、設備の維持費や、機材の購入費、近年の異常気象の被害、害虫による被害額の増加、手作業中心の工程といった非効率的な作業により農家の人口が減り、後継者が減っていることです。

目指す将来の姿

国や地方公共団体などの公的機関が、設備投資や災害対策費を補助することで、若者などを中心に誰でも農業に参加しやすい社会づくりが確立されることです。現在では、第三次産業中心の社会ですが、会社に勤めることや公務員になることといった、職業選択の1つとして、農業が加わる社会になることです。

活動の内容

私達は農業に関わりのある親戚に話を聞きました。いちじく農家のインタビューでは、農家の人口減少問題についての質問をしたところ、1から農業をするとなると、多くのお金や時間が必要なので若い頃から農家になるのは大変とのことでした。若い農家を増やすには、大農場で雇うという制度を増やせば、働き先になりやすいと意見をいただきました。実際に農家の方とお話をすることで、私達とは別の考えを知ることができました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ストーム's

（ 5人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル ストームで広がる活力の輪

活動の動機

ストームを実際にやってみて、生徒同士の団結力が上がり、やり甲斐がすごくある良い文化、伝統だと感じ、これをより多くの学校に広めるためにまず自分たちの学校がやっているストームを活性化させようと思ったから。



活動実施日

20220720

目指すSDGsゴール

11 住み続けられるまちづくりを

解決したい地域の課題

コロナによって豊橋市の様々な伝統行事がなくなり、人々の交流や活力を与える場が減ってしまった。しかし、ストームは言葉が通じなくても覇気や炎で活力を与えられる。このことから多文化共生に繋がれると思った。

目指す将来の姿

目指す将来の形は、自分たちでストームに参加し、豊橋東高校の文化、伝統としての「ストーム」を確立する。しかし、現状、ストームに対する反対意見も少なくなく、主に参加基準に関する疑問で、問題は様々だ、その意見も取り入れつつ、今後に向けて取り組んでいく必要もある。

活動の内容

ストームは火を囲み、輪になって歌唱し、歌に合わせて舞う伝統行事であり、ストームについてアンケートを行いました。「達成感がある」という意見がある一方で、「今の時代に男子のみの参加は時代に沿っていない」という反対意見もありました。また、今年のリーダーにインタビューしました。「3学年が一体となり、楽しさと達成感を味わって、それを受け継いでほしい」という意見を頂けました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

非常食グループ

（ 4人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 非常食を美味しく食べよう！

活動の動機

安全・安心な豊橋という言葉から今後予想されている南海トラフ地震にどう対応すれば良いか考え、豊橋市のホームページを調べてみて家で備蓄した食べ物の消費期限切れが問題になっていることを解決しようと思った。

●ローリングストック法
非常食を定期的に飲食し、使用した分を補充するという備蓄方法(農林水産省)

毎度同じ方法で飲食しては飽きてしまうので、こういったレシピは非常食の役に立つと考えられます。簡単、手軽で尚且つ美味しいことが広く知られれば、食料品の備蓄の進捗に繋がります。



活動実施日

20220822

目指すSDGsゴール

3 すべての人に健康と福祉を

解決したい地域の課題

市の備蓄食品は限りがあり、家庭の備蓄食品は多くない。ある程度は備蓄しておきたいが、消費期限があり積極的に買えない為非常食へのイメージは良くない。古い食料を上手く活用すればハードルを下げるができる。

目指す将来の姿

災害時、私たちが生きていく上で最も重要となる非常食。各家庭の食料備蓄のハードルを下げる事ができれば、食品の無駄にもならず、災害時の健康問題も改善することが出来るだろう。市民一人一人が積極的に災害に取り組める。安全性の高い街づくりに関心を持つことができる。これが私たちが目指す将来の形である。

活動の内容

家庭の食品備蓄を増進するために農林水産省が推奨するローリングストック法を多くの人に実践して欲しいと考えた。それは非常食を定期的に飲食し、使用した分を補充するという備蓄方法だ。この方法を実践する上で、古い備蓄食品を消費する際に同じ方法では飽きてしまい、継続を困難と感じる家庭も多いと思う。そこで私達はインターネットで非常食を美味しく食べるレシピを調べ、実際に調理し、作りやすさと食べやすさを確かめた。